

豊岡小学校活動報告

1 テーマ

小学校外国語活動における文字の導入

2 活動内容

(1) ポスター作りを通して英語の文字を書く機会の導入

Hi, friends! 2 Lesson 3 「This is me」で扱う「I can swim.」の表を使って自己紹介をする活動を取り入れた。単元の初めに進化ゲームやキーワードゲームなどを通して音声に慣れ親しんだ後、ポスター作りを行った。伝えたい内容によって can の後の動詞が変化することに気付かせ、ポスターを書くときにもそれを意識させた。

児童は自己紹介で書きたい動詞を知らないため、和英辞典で調べるか教師に聞きに来るかのいずれかの方法で書かせた。多くの児童が和英辞典に興味をもち、自分で調べようとしていた。完成したポスターはつづりや文法などの間違いがあるものがほとんどであったが、自分の意思や判断で英語を使おうとする態度を育成することを主眼として指導したため、厳密に訂正をさせることはしなかった。

学級全体の発表会で自信をもって発表させるために、事前にグループで発表し合う活動を取り入れた。「楽器の名前だから the がつくと思うよ。」「ジェスチャーがとても上手で伝わりやすいと思ったよ。」など、児童間の交流によって文法を見つめ直すことや、自分の発表に自信をもたせることができた。



(2) show and tell の台本作り

スピーチの準備の際に、英語で台本を書かせた。その際に Hi, friends plus のワークシートを活用した。原稿を書く指導をする前に、アルファベットの大き文字と小文字を家庭学習で学ばせた。台本はワークシート NO.12 の自由記述のものを使用した。その日の授業では、英語を書く際には4本の線がありアルファベットごとに書く場所が決まっていることに気付かせた。児童は英語を書くことに特に抵抗はなく、集中して書いていた。授業の振り返りシートでは、「アルファベットごとに書く場所が決まっていることは初めて知った。これから書くときには意識していきたい。」「単にアルファベットを書くのではなく、言葉のまとまりごとに区切って書かないといけないと思った。」など、書く際の注意点に気付く児童もいれば、「なぜ大文字と小文字があるのか気になった。」「c や x のように大文字と小文字がほぼ一緒のものもあれば、a や e のように全く違う形になるものがあるとおもしろいと思った。」など文字自体に興味をもつ児童も多かった。



(3) 成果と課題

- 英語を書く活動を盛り込むことで、扱う英語のフレーズを覚えることができなくて困っていた児童が自信をもって発表したり、交流したりすることができるようになった。
- 文字を導入していくことは児童の学びのニーズを満たすものであり、話すこと聞くこと同様に意欲的に学ぶことにつながった。
- 文法や単語のスペルにも興味をもつ児童がいて、中学校に進学して、さらに英語を勉強したいという思いを高めることができた。
- ▲ 書くことができたとしても、それを発音することに戸惑ってしまう児童がいることも分かった。
- ▲ 書いて形に残るため正解を書かなくてはならないという思いに駆られ、英語は難しいものとして児童は認識してしまうケースも見られた。